

オアシスメイト

「伝えたいこといっぱい」ヨシケイ埼玉オアシスメイト編集部発行

おいしくて・あんしんで・しぜんちがい・すこやかなしよくまい



300年以上続く「三富開発」に

由来する 自然循環型農業

「三富開発」とは「三富地区（川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、三芳町の5市町村）」にまたがる地域で、江戸時代、川越藩の政策として行われた開発のことなのです。道路側から「家屋・畑・その畑に隣接した同じ面積の雑木林」を作り、その雑木林から出たクヌギ・コナラ等の落ち葉をたい肥にして又畑に戻すという自然循環型の農法です。農家の方々は、このやり方を代々受け継いできました。

クヌギ・コナラ等の落葉樹を発酵させ、たい肥にして畑に蒔くことで、「微生物が生きている、ふっかふかで元気な土」に、生まれ変わります。秋になると落ち葉集めが膨大な作業になりますが、この林がある限り天然資源を余すところなく活用でき、自然循環が持続可能になります。

ふっかふかの土づくりが

美味しい野菜を育てます。

ヨシケイ埼玉の「小松菜」「にんじん」「ほうれん草」は「産直グループ こだわり村（川越市中福）」の畑で育ったものを中心にお届けしています。

この畑の土は、細かな粒子で柔らかく、手のひらに乗せるとふんわり軽くて力を加えると粒状に戻ることが特徴です。これを「団粒化（だんりゅうか）」と言います。土の中には目には見えないたくさんの微生物があり、それが土を柔らかくして、水はけが良く根の張りを丈夫にしてくれる効果があります。

実際に畑に足を踏み入れると、どこまでも沈んで行ってしまふような不思議な感覚になります。



みずみずしく、甘みと香りにも自信のある「こだわり村」のにんじんは、9月ごろ種が撒かれます。寒い季節にも、ふっかふかの土の中で日に日に糖度を増していきます。土の中で生命力を蓄え、霜の影響でさらに甘く濃い味に成長するのです。

三富地区は、短冊形の割り地で雑木林と畑と家屋が帯のように並んでいるのです！

雑木林

畑

家屋

隣家との境界線

Monthly PRESENT

20 今月のプレゼント!

名様

応募締切は2021年10月27日(水)です。

何が届くかはお楽しみ!

「こだわり村」おまかせ新鮮野菜セット

土作りに重点をおいた「自然循環型農業」で作られた新鮮な野菜をちよつとずつセットにしてお届け。こだわりの味をお楽しみください!



※イラストはイメージです。

応募方法

お便りを採用させていただいた方と、裏面の「オアシスメイトクイズ」の正解者の中から抽選で今月のプレゼントを差し上げます。
※8月号のクイズの答えは「A」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

〈キリトリ線〉

食材への感想やご意見・ご要望、スタッフのサービスについてなど、声をお寄せください。

お便り

※必要事項をご記入の上、切り取りスタッフにお渡しください。

クイズの答え

裏面の「オアシスメイトクイズ」の答えをA・B・Cの中から選んで記入してください。

▶ ホームページ内の「お問い合わせ」にてお便りとクイズの答えをお待ちしております。



拠点 _____ コース _____ お客様コードNo. _____ お名前 _____ 様

2021.10

メールアドレス:wewe-info@yoshikei-sai.jp



三富地区と呼ばれるこの地はかつて関東ローム層に覆われた痩せた大地でした。萱(かや)やまばらに生えた林からなる、広大な原野だったのです。今から300年以上前、川越藩主は農家が今後も安定して農業を継続していけるようにと、区割りをし

雑木林は永久的に肥料を生産する「工場」



た農地開発を行いました。「道路側から家・畑に隣接して、同じ面積の「屋敷林やしきりん」をつくるべし」という教えで、農家は雑木林も守り育てていく役割を担ったのです。秋の「落ち葉」を大量に集めて発酵させ、たい肥を作ります。放っておけば足を踏み入れることができないくらいに、うっそうとしてしまふ雑木林を農家の人たちは大切に管理してきました。いわば、雑木林は永久的に肥料を生産する「工場」としての役割を果たしていました。



雑木林からたい肥のもととなる「落ち葉」を集めるのも重労働。でも大切な落ち葉を集め、きちんと発酵させる事で熱を発しながら貴重なたい肥となるのです。

化学肥料に頼らない昔の人の知恵はすごい

万が一、石油の価格が上がれば、肥料や飼料の価格にも影響が出ます。しかし、この地では雑木林がある限り永続的に良い肥料を手に入れることができます。化学肥料に頼らない農法。昔の人の知恵はすごいもの。だなぁと感心させられます。生産者グループの農家さんの努力により、化学合成農薬や化学合成肥料を極力使用しない、人にも環境にも優しい自然循環型農業が可能になるのです。



畑の先には広大な雑木林が見えます。

食べていただける人たちに、常に感謝

農薬や化学肥料に頼らない農法は、とても大切なことだと思えますが、しかし一番大切なことは、作り手(生産者)が、食べていただける人たち(消費者)のことを常に想像し、感謝をしながら農産物を育てることだと思えます。

生産者の「ありがとう」という感謝の想いのこもった野菜が、ヨシケイのお客様の食卓に並び、召しあがった方々が幸せになつていただける。感謝の想いは目には見えませんが、数値化できるものではありませんが、その想いは野菜を通して必ずお客様に届くと信じています。常に食べていただけるお客様を想像し感謝をしながら野菜を育てる。この理念こそ我々「産直グループ こだわり村」の生産者が大切にしている想いです。



ヨシケイ埼玉の社員たちにも自信を持って扱ってもらえるように

今はコロナ禍で中止していますが、ヨシケイ埼玉の新入社員は必ずこの畑で勉強をしてきていました。この事が、サービスタッフの皆さんが自分の仕事に誇りを持つきっかけになったら、と思っています。これからもその思いを大切にしながら、安心・安全で感謝をこめた野菜を生産していきたいと思えます。



感染症が収束したら再開する予定です。※写真は中止前の新入社員の勉強の様子です。

安心・安全で感謝の想いのこもった野菜を、これからも生産していきたい。

「産直グループ こだわり村」加園(かその)さん



オアシスメイトクイズ

表面のお便り欄にクイズの答えを記入して、今月のプレゼントに応募してね♪

江戸時代に川越藩主の政策で行われた、農家さんが代々受け継いできたものとは?

- A: リゾート開発
- B: 三富開発
- C: 宇宙開発

答えを右記のA・B・Cの中から選んでください。



わたしたち株式会社ヨシケイ埼玉は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



17項目ある「SDGs」の中で、ヨシケイ埼玉は社の活動を通しかかわりの強い上記9項目の「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指します。

※本情報紙は著作権法で保護されている対象物です。無断で複製使用することはできません。 ※写真やイラストはイメージです。

2021年10月の休日スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■印の日が引き落としです。
○印の日は休業日です。

2021年11月の休日スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■印の日が引き落としです。
○印の日は休業日です。

ホームページアドレス
<http://yoshikei-sai.jp/>



株式会社 **ヨシケイ埼玉**
発行：オアシスメイト編集部

〒359-0014 所沢市亀ヶ谷249-1
TEL: 04-2944-6211

対象週	引落日	曜日
9/27週・10/ 4週	10/ 5	火
10/11週・10/18週	10/19	火
10/25週・11/ 1週	11/ 2	火
11/ 8週・11/15週	11/16	火
11/22週・11/29週	11/30	火

金融機関からの引き落としスケジュール
前日が祭日等で金融機関が休みの場合は、引き落とし日が変わります